

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こころそだちのサポートセンターALOHA 児童発達支援（ポノ）		
○保護者評価実施期間	R6年 12月 10日		～ R7年 1月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	R6年 12月 10日		～ R6年 12月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 1月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・様々な年齢相の中で共に生活し、一緒に遊びや多様な体験活動をして育ちの充実さを提供	①乳幼児だけの活動もあるが、様々な年齢相と交流し子ども同士で考えながら遊びや多様な体験活動と一緒に経験する支援を実施しております。 ②お兄さんやお姉さんは優しく面倒をみてくれて、乳幼児は甘えながら一緒に生活や遊びを通して、お互いの役割を担い子ども自身が内在的に持つ力を発揮できるような支援を実施しております。 ③送迎時からサービス提供時間内に児童発達支援の利用者と放課後デイサービスの利用者と一緒に受入れている。	①児童発達支援の利用者が徐々に減ってきているので、法人や関係機関と連携して受け入れられるように準備しておく。 ②乳幼児が興味が出るような玩具や遊びのレパートリーを増やしておく。 ③お兄さんやお姉さんと一緒に活動できる遊びやイベントを考えておく。
2	・法人内である坂之上病院や福祉事業部との密な連携体制	①1回/週カンファレンスがあり、子どもや保護者の関りについてや近況報告をし、主治医や他事業所からの意見交換や助言を頂き支援に活かしている。 ②法人内でのイベントには当事業所も参加させてもらい、地域のつながりをもてるようにしております。	①子どもや保護者からの悩みの相談等に関してはカンファレンスで報告する。当事業所にはカンファレンスで話す内容に関して、入力表があるのでしっかり全スタッフが活用できるようにする。カンファレンスで意見や助言を頂いた後は、すぐに対応を行う。 ②他事業所と連携をしながら、イベント行事の準備や段取りを調整する。
3	・どの年齢にも安心、安全な場所だと思える居場所提供	①多職種が就労しており、各専門性のあるスタッフからの意見や関り方を日々支援に活かしながら、子ども達がありのままにいれるような体制・環境を作っています。 ②様々な障害や特性を持った子どもがいる中で他者と交流し、他者に対する思いやりや優しさ等の社会性を育み、仲間との関係性も重視できるように支援しています。	①今後も子どもが安全・安心な場所だと思えるように、現状で満足せず支援に対する向上心や挑戦を継続していく。 ②支援するスタッフは身体面や精神面を常に把握し、最大のパフォーマンスを発揮できるよう日々体調面をしっかりと整えておく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・事業所内におけるマニュアルやシステムが未成熟	①立ち上げ時に簡単なマニュアルやシステムを作成しているが、子どもも成長し他の子どもも新しく利用するようになって、マニュアルやシステム自体が変化しないといけないのに改訂が間に合っていない。また、新しいマニュアルやシステムも出てきているのに作成が間に合っていない。	①マニュアルやシステムの変更や追加に関しては、一旦リストアップし新たに作成する時間をしっかり設け、子どもや保護者に説明ができるようにする。 ②マニュアルやシステムは各スタッフが簡単に確認できるように掲示し周知する。
2	・地域で暮らす他の子どもとの交流が乏しい	①社交性が乏しかったり繊細な子どももいるので、地域の子どもとの交流を避けていた。 ②外出活動等や他事業所の催し物やイベントに参加し、交流する事もあったが数回のみ。ただ、現在センターも未確定で地域との交流する場が不明であった。	①当事業所を利用している子ども達にも意見を聞き、また主治医や他事業所からの意見や助言を貰って地域交流に努めていく。 ②センターが決まり次第、地域の催し物やイベントに積極的に参加していきつながら作っていく。 ③法人内の事業所と連携して、催し物やイベントを開催していく。
3	・各スタッフの知識や技術の乏しさ	①今まで研修や勉強会をする機会が少なかったため、各スタッフの知識や技術の向上が出来ていなかった。 ②スタッフのモチベーションが高くなく、現状維持の環境に慣れていた。	①最近だが法人に協力をもらい研修や勉強会を定期的で開催して全スタッフ出席し学習しているので、今後も継続し各スタッフの能力を向上していく。 ②他事業所の見学や外部の研修にも参加し、当事業所の長所や短所を学び、今後の支援に活かしていく。 ③研修や勉強会に関しては資料や記録を残し、参加できなかったスタッフにも共有して共通認識を高めていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ころとそだちのサポートセンターALOHA 児童発達支援（ポノ）

公表日 R7 年 2 月 日

利用児童数 R7 年 1 月 30 日

回収数 3

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3					プレイルームや静養室・フリースペースなど、活動に合わせたスペースを確保しています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	3					人員配置基準は満たしています。心理士・看護師の有資格者も配置されています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2			1		各部屋に名前を掲示しています。室内に段差はなく、車椅子での移動も支障ありません。障害の特性に応じて過ごせるような空間作りを行っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	3					お子様が活動しやすい空間作りができるよう、日々清掃や環境整備に努めています。
	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3					こどもの発達状態を理解し、課題に対してスタッフ間で話し合いをし、専門性のある支援を実施しております。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	2			1		事業所の支援方針に沿って、支援プログラムを考え1人1人に合った支援を提供しております。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	3					サービス等利用計画に基づきニーズや課題を整理し、スタッフ間で話し合い、児童発達支援計画を作成しています。

適切な支援の提供	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3					本人支援・家族支援・移行支援で示す支援内容から、お子様の発達状況、特性に合わせて児童発達支援計画を立案しています。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3					今後も児童発達支援計画に基づいた支援を行います。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	3					年間行事や日々の活動に関しては事前に決めているが、本人の希望やニーズに沿った支援を行うため、個別プログラムと集団活動プログラムを組み合わせながら、当日の活動プログラムを立案しております。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1		1	1		地域との交流が少なかったため、外出活動等を通して地域との交流の機会を検討しております。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3					利用契約時に保護者様とお子様時間に頂き、当事業所で運営規程、重要事項、契約、支援プログラムを丁寧に説明を行っております。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2	1				お子様の状況、保護者様のニーズに沿った児童発達支援計画をサービス等利用計画に基づき作成し、説明を行っております。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2		1			坂之上病院と連携を図りながら、情報提供や共有を行っております。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	3					送迎や来所時、LINEやお電話にて保護者様と密に連絡を取り、健康状態、登園状況、家庭での様子を共有しております。

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2		1		保護者様からご相談いただいた際は、坂之上病院の主治医・担当心理師・訪問支援員とも連携して支援に繋がっております。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3				保護者様やお子様の立場で理解し、その感情に寄り添って支援をしております。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		1	1	1	・保護者会等が年1回あると、保護者同士の交流（どのような支援しているか等）、職員紹介等もあれば、安心も大きいと思います。（1年を通しての活動内容含む）	保護者様のニーズ、希望に合わせて今後企画を検討していきます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3					必要な対応が適切かつ迅速に実施できる体制整備に努めております。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3				・連絡を上手くされている。	SNSや連絡帳等お子様や保護者様が確認しやすいツールを使用し、意思の疎通や情報伝達を行っています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3					活動概要や行事予定はその都度、SNSや連絡帳等でお伝えさせて頂いております。自己評価の結果は法人ホームページにて発信しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3					鍵付きロッカーやシュレッダーも活用しながら、全職員が万全の注意と対策を行っております。
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1			2	マニュアル作成は完了しており、改定がある場合はその都度スタッフに周知しますが、保護者様への周知は十分に行えていません。保護者様に周知できるように、玄関先への掲示や契約時の説明などを今後検討します。	

非常時等の対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2			1	今年度火災訓練、地震避難訓練、風水害の勉強会を実施しています。来年度も訓練の年間計画を定め定期訓練を実施します。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3				・安全を確保するための計画については今後検討します。 ・ヒヤリハットやインシデントがあった場合は、その都度対策を検討してから即実践し、こどもの安全について常に考えています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2			1	事故等が起きた際には、すぐに保護者様に状況説明の連絡をし、坂之上病院と連携を図っております。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	3				お子様たちが安心・安全と思えるような支援や環境作りを心掛けています。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	3				お子様たちには興味を持ってもらえるような活動プログラムを日々考えております。
	29	事業所の支援に満足していますか。	3				お子様にとって居心地の良い場所としてご利用していただくこと、また保護者様に安心していただくことを目指し、今後もALPHAの精神でより良い支援を行います。そのうえで、保護者様のご意見を踏まえ、ニーズに合わせたサービス提供を目指していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こころとそだちのサポートセンターALOHA 児童発達支援 (ポノ)		公表日		R7 年 2 月 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数であり部屋内でしっかりした支援が行いやすい ・ダイナミックに動けるスペース、学習スペース等用途に応じて使用できる空間があります。 ・放デイと児発で部屋が分別されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用数によっては狭い・広いと感じる事があるので、利用人数でスペースを拡大縮小する工夫もしていきます。 		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	4	<ul style="list-style-type: none"> ・基準は満たしていますが、個別での関りや屋外活動を取り入れる際等、人員不足感じる事があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・常勤の職員を支援に定着できるような人数、配置が必要ではないか。ヘルプやパートでは途切れた支援になっている。 ・必要最低限の人数で運営しているのが気になる。国からは支援に必要な職員を余剰に入れて対応して良いとなっているのに何故か。スタッフの業務の偏りが大幅にある。 ・個別対応や屋外活動を行う際に十分に支援がいきわたるように、職員の拡充を図っていきます。 		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	2	<ul style="list-style-type: none"> ・段差は少なく、トイレや階段には手すりもついており、段差のある個所にはスロープを設置しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報伝達はもっと分かりやすいシステムが必要。 ・利用者様のニーズに合わせて随時改修を検討していきます。 		

	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		<ul style="list-style-type: none"> ・冬は加湿器、窓の換気の徹底、空気清浄機の設置をしている。 ・リラックスしながら、会話を楽しんだり本を読んだりできるような空間づくりがある。 ・収納場所を確保し、利用目的で部屋を分けており整理整頓もできている。 ・毎朝掃除やテーブルや椅子の消毒をを行い、夕方にも片付けや整理を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も掃除、整理整頓を心掛け、清潔で心地よく過ごせる空間を目指していきます。 ・利用者達が増えてきているので、くつろげるようなソファを増やす方を検討中です。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		<ul style="list-style-type: none"> ・体調不良や個別で過ごしたい子ども向けに静養室が用意されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も個別で使用できるように場所を固定して環境を維持していきます。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9		<ul style="list-style-type: none"> ・朝のミーティングでの15～30分程度個別支援計画書に沿って話し合いや、月に1から2度開催している会議にてPDCAサイクルを取り入れています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も目標設定を明確化し、職員間の共通ツールを介してそれぞれが日々目標達成度を把握し、ミーティング時には目標達成のための具体的なルール設定を行うように取り計らいます。引き続き全スタッフで情報共有や振り返り、検討を重ね、より良い支援に繋がっていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	2	<ul style="list-style-type: none"> ・評価表の結果を真摯に受け止め、業務改善や向上に努めている。 ・個別支援のヒアリングをしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も評価表を活用し、職員の話し合いの場を設け業務改善に繋がっていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		<ul style="list-style-type: none"> ・毎日30分以上はMTを実施。定期的に職員の面談も行い、職員間で事業所の改善をしている。 ・1回/月ALOHA会議開催している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ間でコミュニケーションを図り、何でも意見を出せる雰囲気作りを継続していきます、全スタッフで業務改善に務めていきます。

9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	4	・常勤スタッフを中心に改善を図っているが、他部署からの助言をもらい、毎日業務改善を行っている	・他施設からも積極的にヒアリングを行い、改善案を考える
10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		・1回/週研修と勉強会の機会がある。 ・e-ラーニング研修と外部研修実施している。 ・1回/週カンファレンス実施している。	・引き続き方法を工夫（カンファレンス、社内外研修、オンデマンド研修、勉強会）し、研修の機会の確保、参加を行い、資質向上を目指してまいります。
11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		・作成はしていたが保護者や児童には開示はしていなかった。理由は当日に児童の気分次第で活動変更が頻回にあったから。大きな行事は事前に保護者や児童にはお知らせはしていた。	・年間行事や月の活動プログラムに関しては作成していたが、公表はしていなかったので来年度からはホームページに公開（年間行事・毎月の活動等）して案内していきます。
12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9		・各利用児の個別検討を日々行い、双方のニーズについて議論に挙げ、話し合いをした上で、計画書に反映させています。	・児童発達支援計画にニーズや課題を反映させられるように、より一層適切なアセスメントと計画の作成を実践をしていきます。
13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	2	・利用する児童の計画書を毎日確認して支援や記録に活かしている。	職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した支援内容についてその都度話し合いをしていきます。
14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		・児童発達支援計画に沿って個別プログラムの作成をしています。	・今後は発達段階に応じた個別プログラムと集団プログラムを展開していきます。
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		新しく導入したフォーマルなアセスメントを活用している。行動観察等のインフォーマルな評価表は活用していない。	・フォーマルなアセスメントを使用して評価していく。行動観察に関しては当事業所に合っている評価表を探してく。

適切な支援の提供

16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		・児童発達支援計画作成時にガイドラインの項目を遵守し、かつお子様一人ひとりの状況に合わせた支援内容を立案しています。	・ご家庭との連携をさらに深め、日々の支援やモニタリングの中で新たな課題を把握し、ガイドラインに沿った具体的な支援内容を立案していきます。
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		・令和6年10月からチームの再構成をし支援にあたっている。各チームでコミュニケーションを図りながら企画、実施をしている。	・全スタッフで振り返りと検討を積み重ね、より良いプログラムの拡充を目指していきます。
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		・毎月活動プログラムを組んでいるが、当日は各チームリーダーと相談しながら、児童のニーズに合った活動もその都度導入している。	・来年度は年度初めに年間行事や毎月の活動プログラム公表するが、当日の利用者のニーズに合わせて活動プログラムの変更もしていく。
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9		・保護者様や関係機関からの情報や助言を基に、個々の特性を勘案した支援計画を作成しています。	・今後も保護者様と共通理解のもと、お子様の発達段階に応じたきめ細やかな支援内容を検討して行きます。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		・朝礼にて当日の流れをはじめ支援内容や役割について確認しています。	・引き続き、朝礼にて当日の流れをはじめ支援内容や役割について、全スタッフが情報共有を行い支援に取り組んでいきます。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	1	・情報共有をその都度行い、終礼にてその日の支援についての振り返りや反省・改善策等を共有する時間を設けている。	・パートは朝のMTや夕方の振り返り等参加できておらず、申し送りや記録を見ているが時間を要している。内容など十分、把握できていない場合もある。職員間の連携の取り方に工夫が今後必要。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		・個別支援記録と分析用の記録をその日のうちに作成しています。連絡事項や注意事項に関しては、別の申し送り表に記載して全スタッフに周知しています。	・今後も専門的視点で個別支援記録と分析用の記録を残し、全スタッフが周知・振り返りができるように努めていきます。

	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		・児童発達支援管理責任者が日程調整しモニタリングを行い、お子様の様子や保護者様の意見を取り入れて個別支援計画の見直しを行っています。	・充実した児童発達支援計画案の作成に繋げるために、お子様や保護者様からの相談があった際には、その都度モニタリングを行い状況や発達段階に応じて支援内容の見直しを図っていきます。
関係機関や保	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	1	・児童発達支援管理責任者または管理者、担当スタッフが中心になり参加しています。	今後も担当者会議や関係機関との連携は全スタッフで役割を決め対応できるように参画していきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9		・主に坂之上病院と連携しているが、今年度から学校・園・関係機関との連携が増え、その都度スタッフが訪問したり連絡して情報共有や提供を実施している。	・今後も坂之上病院と密な連携を行い、利用者達が関係している機関（学校・園等）とも継続して情報共有・提供し、社会全体で利用者達を支えていく。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		・今年度は就学相談や不登校、受験、特別支援学校、就労移行の支援が多かった。こどもを中心とし社会全体としてこどもを支え、こどもたちにとって最善の利益を提供できるように今後も支援継続していきます。	・今後はこどもの育ちの支援に協力するとともに、こどもに対する保育所等の支援力の向上を図る等、保育所等への併行利用や移行を推進したり、広報や会議、研修等の機会を活用したインクルージョンの重要性・取組の発信・周知を進めていきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		・就学相談等で園と連携して、移行支援のための情報共有・提供を行っています。	・今後も関係機関と連携し、情報共有・相互理解に努めていきます。
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				

護者との連携	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	5	4	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度よりスタッフ向けで1回/月心理士の先生との勉強会を実施し、意見交換や助言を頂いております。 ・地域にセンターがなく、別地域のセンターと調整を行い意見交換や助言を頂いております。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後はセンターが決まり次第、センターと連携し研修や勉強会に参加を実施していきます。引き続き来年度もスタッフ向けの心理士との勉強会も継続していきます。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		9	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の観光農業公園での催しや他事業所が開催しているイベント等、交流の場に参加する事もあった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度は外出活動を通して地域との交流や他事業所との交流をし、こども達にとって他のこどもとも交流する機会を増やしていきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時や電話での会話にて、ご自宅、事業所、登園先でのお子様の状況を共有しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も引き続き情報の提供、共有を図り、保護者様との信頼関係の構築と共通理解に努めていきます。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	8	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様と連絡を取り合い、坂之上病院の主治医や担当心理師を通して、トレーニングの支援をしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・より親子支援につながるように、スタッフ自身のスキル向上を目指し、意見交換や助言ができるようにしていきます。
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に重要事項説明書、契約書を通して丁寧にご説明させて頂いております。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き契約時や運営規定改定等の機会に丁寧な説明を行っていきます。 	

36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		・契約時やモニタリング時、保護者の希望により児童発達支援管理責任者や管理者、担当スタッフを中心にこどもや保護者の意向を確認する機会を作っています。	・今後も継続してこどもや保護者にニーズや要望に応じて話せる場を設けていきます。
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9		・ガイドラインに沿った、支援内容を基に児童発達支援計画を作成しています。完成した計画書を保護者に丁寧に説明を行い同意を頂くようにしています。	・今後もガイドラインに則った支援計画を作成し、保護者の皆様に十分かつ丁寧な説明を行い、同意いただけますよう努めていきます。
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		・保護者様から頂いたご相談について坂之上病院と連携を行い、主治医から保護者様に助言を行っています。 ・当事業所が主治医に確認して、スタッフが保護者に直接助言や面談をする事もしています。	・今後も坂之上病院と綿密に連携しながら、保護者様からお気軽にご相談いただけるような体制作りにも努めていきます。
39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	8	・開催を検討しています。	・保護者様からのニーズや希望に沿って、企画検討をしていきます。
40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		・相談や申し入れがあった場合は、記録に残し、スタッフや上長に周知し迅速に対応を行っています。	・今後ご意見やご相談に積極的に耳を傾け適切に対応を行い、保護者様が相談しやすい体制作りにも努めていきます。
41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	2	・活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を適宜電話やLINE等でお子様や保護者様に発信しています。	・行事や活動の予定を増やし、お子様や保護者様にお知らせし、連絡帳や送迎又はお電話の際のお話しにて、ご様子について随時お伝えしていきます。

	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		・鍵付きロッカーやシュレッダーを活用した個人情報漏洩防止対策を行っています。	・引き続き管理者を中心として、全スタッフにて個人情報漏洩防止に努めていきます。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		・お子様と保護者様に寄り添い、特性や障害に応じたツールを使用し分かりやすくお伝えしています。	・今後もお子様の特性や保護者様のご意見を基に、正しく情報伝達と意思の疎通ができるように配慮していきます。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		9	・現在実施には至っていませんが、児童の特性に応じて負担が無いように事業運営を行っています。	・今後もお子様や保護者様を第一に考え、地域イベントや法人内でのイベントなどの交流の場の企画検討を行います。
非常時	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		・マニュアル作成は完了しており、改定がある場合はその都度スタッフに周知してありますが、保護者様への周知は十分に行えていません。	・保護者様に周知できるように、玄関先への掲示や契約時の説明などを検討します。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		・今年度は火災訓練、地震避難訓練、風水害の勉強会を実施しました。	・来年度も訓練の年間計画を定め定期訓練を実施します。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		・保護者様からご同意いただき、御家族や関係機関からお子様の状況を確認しています。	・お子様の健康を第一に考え、保護者様から状況について確認できるよう努めていきます。 ・来年度は急変対応との救護法の勉強会もしていきます。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		・契約時やモニタリングの際にアレルギーに関して聴取し、連携している坂之上病院の管理栄養士に報告を行い、お子様に適切な食事を提供しています。	・引き続き定期的に保護者様にご確認し、お子様の変化に応じた食事提供を行います。

等の 対応	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		・安全計画に関してはBCPを1回/月開催し、情報共有を行っています。	・今後も安全管理について研修や訓練等をして全スタッフが対応できるようにしていきます。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		・緊急時の連絡先はヒヤリングしているが、安全計画に基づく取組内容を家族等に周知していなかった。	・今後は安全計画の取組についても事業所内に掲示するか保護者やこどもにも適宜周知していきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		・全スタッフが積極的にヒヤリハット事例集の作成を行い、ミーティングにて振り返りの場を設け、改善策を考えています。	・今後も正確な記録を行い、職員間で情報共有を図り、事故防止に努めます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		・法人内研修の参加や事業所内でのミーティングを実施して、日々の支援に繋げています。	・更なるスタッフのスキル向上の為、研修を受ける機会を増やし、より適切な対応を目指していきます。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	1	・運営規定に身体拘束等の禁止を記載しておりますが、やむを得ない場合は一時的に身体拘束をする事を保護者にも十分に説明してきております。現在の所、身体拘束をした事案はありません。	・保健福祉法、児童福祉法に基づいて、今後も身体拘束に至らないように、代替案を考え、おこさま達のトラウマにならないよう、保護者様が不安にならないように工夫していきます。